

## ARIBの動き

## デジタル放送システム開発部会体制の見直しについて

平成22年9月29日に開催した第51回デジタル放送システム開発部会会合において、当開発部会の体制の見直しを行ないました。

見直し内容は以下のとおりです。

## デジタル放送システム開発部会作業班の見直し内容

作業班名	変更	備考
サーバー型放送方式作業班	名称変更	放送サービス応用メタデータ作業班 (変更理由) 実際の活動内容にそった名称とした。
衛星デジタル放送高度化作業班	名称変更 所掌事項一部追加	衛星デジタル放送作業班 “今後の高度化に関する技術”を一部追加
地上デジタル音声放送作業班	終了(※) 所掌事項一部 他の作業班へ	STD-B29の所掌は地上デジタル放送伝送路符号化作業班へ STD-B30の所掌はデジタル受信機作業班へ
CSデジタル放送高度化作業班	終了(※) 所掌事項一部 他の作業班へ	所掌事項の一部を衛星デジタル放送作業班へ “今後の高度化に関する技術”
衛星デジタル音声放送作業班	終了(※) 所掌事項一部 他の作業班へ	STD-B41の所掌は衛星デジタル放送作業班 (旧衛星デジタル放送高度化作業班) へ STD-B42の所掌はデジタル受信機作業班へ
地上デジタル放送小電力送信システム作業班	終了(※)	
モバイルマルチメディア放送方式検討作業班	名称変更	モバイルマルチメディア放送方式作業班 (変更理由) 既に事業者も決定し、検討段階ではなくなっているため、「検討」を削除した。

(※)今後の作業班の活動見通しが無いため、終了した。

## CEATEC JAPAN 2010に出展

10月5日(火)から9日(土)まで、CEATEC JAPAN 2010が幕張メッセで開催され、当会もブースを設けて広報普及活動を行いました。

このイベントは、最先端IT・エレクトロニクス総合展として注目度が高く、本年は全体で約18万人の来場者と616社・団体／出展小間数2,255小間の規模となりました。

会期中は、ARIBブースに多数のご来場を頂きありがとうございました。

当会のブースでは、以下の展示活動を行いました。

- (1) パネル展示を利用したARIBの概要、研究開発及び国際普及活動の紹介
- (2) 地上デジタル放送日本方式国際普及 (ISDB-T 8MHz帯域システム) 実機展示
- (3) ARIBの事業概要紹介ビデオの放映
- (4) インターネットを利用したARIB標準規格ダウンロードサービスの紹介

また、アンケート調査には多数の方から回答をいただき、ありがとうございました。

アンケートの集計結果は、後日、ARIB機関誌No.72 (平成23年1月発行) に掲載する予定です。



ARIBブースの様子

## 第166回業務委員会を開催

第166回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年10月13日(水) 午後2時から3時5分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 主な議題

- (1) 2010年ARIB/DVB会合の報告
- (2) APT無線フォーラム第9回会合 (AWF-9) の報告
- (3) デジタル放送システム開発部会体制の見直しの報告
- (4) ARIBニュースの提供方法の変更の説明
- (5) InterBEE2010におけるARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式技術資料」  
協賛展示プログラム参加についての説明

## 電気通信・放送行政の動き

### APT無線フォーラム第9回会合 (AWF-9) が開催される

AWF (Asia-Pacific Telecommunity Wireless Forum) は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数、技術、標準について情報交換を行う会合です。今回開催された第9回会合の概要をお知らせします。なお、AWFの構成の見直しと名称変更に関するコレスポネンスグループのコンビナーをARIBの佐藤が、IMT WGの議長をARIBの広池が務めました。

- 1 日程：2010年9月13日～9月16日
- 2 場所：Renaissance Seoul Hotel (韓国・ソウル)
- 3 出席者：25ヶ国、40機関・団体より約200名が出席。日本代表団として、総務省総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室・川崎課長補佐を団長に22名が出席。
- 4 フォーラムの構成：全体会合、3つのワーキンググループ会合(スペクトラムWG、IMT WG、コンバージェンスWG)、2つのタスクグループ会合(衛星アプリケーションTG、ITS TG)、1つのアドホックグループ(周波数情報データベースAd-Hoc G)からなる。
- 5 主要概要：
  - (1) 「AWF組織の見直し案及び名称変更案 (図1)」が採択され、次回会合から、WG on Spectrum Aspects (WG-SPEC)、WG on Technology Aspects (WG-TECH)、WG on Service & Applications (WG-S&A) の3つのWG体制をとること及び名称をAWG (APT Wireless Group) に変更することで合意した。
  - (2) UHF帯におけるFDD/TDD周波数アレンジメントに関する技術検討を行うコレスポネンスグループ (CG) 活動の結果が反映された、新レポート案「698-806MHz帯のハーモナイズされた周波数アレンジメント」が承認された(日本は、国内での検討状況を説明し、勧告として完成させるのは時期尚早であること、ただしレポートならば今回の完成には異論はないとの寄与文書を入力)。

- (3) 質問状に対する各国からの返答の入力文書に基づいた「携帯電話用周波数帯使用状況」に関する新レポート案を完成・承認した。
- (4) 中国・Huaweiから提案のあった新しい検討課題 (Machine-to-Machine Communication) については、新しい組織WG-S&Aの基で検討することで先送りとなったが、Machine-to-Machine Communicationに関する情報を広く求めるための質問状を発出することで合意した。

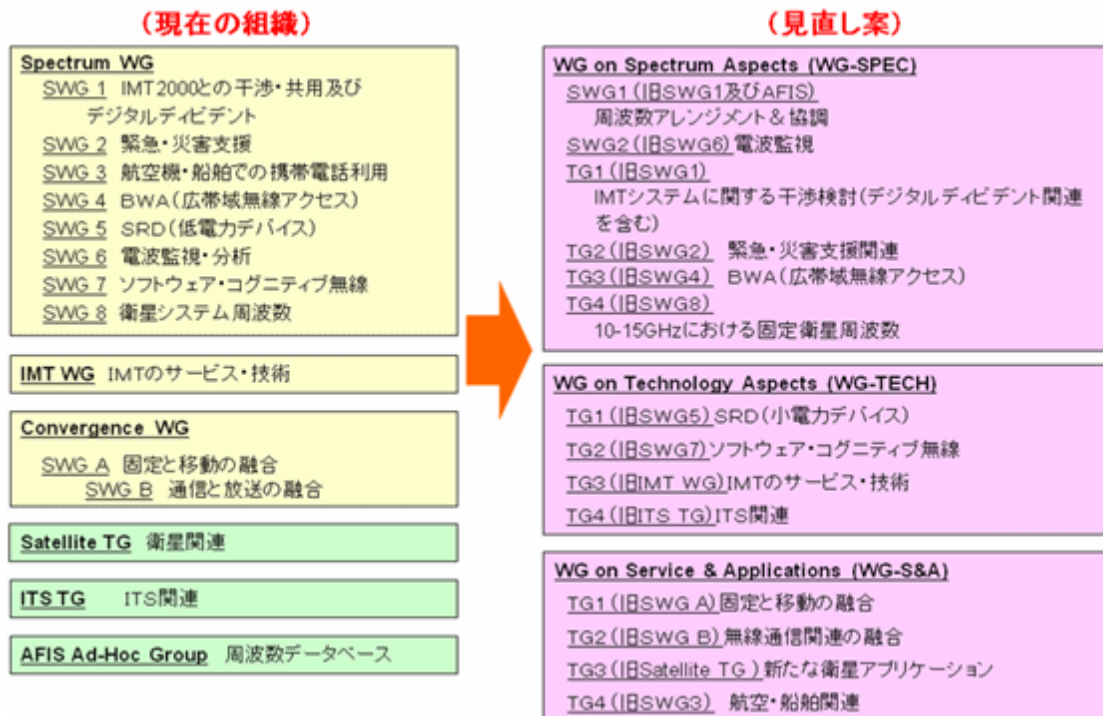


図1. APT無線フォーラム (AWF) の組織見直しについて

### 特別衛星放送に係る委託放送業務の認定

【平成22年10月13日の総務省報道資料から】

総務省は、特別衛星放送に係る委託放送業務の認定について、電波監理審議会（会長 原島 博 東京大学名誉教授）に諮問し、原案を適当とする旨の答申を受けました。

#### 1 概要

総務省は、特別衛星放送に係る委託放送業務に関し、平成22年6月24日（木）から同年7月23日（金）までの間、認定申請を受け付けました。

その後、法令に基づき審査を進めてきたところ、表1の申請を認定することについて、電波監理審議会に諮問し、原案を適当とする旨の答申を受けました。

#### 2 申請及び審査の概要

各申請について、放送法第52条の13第1項、放送法施行規則第17条の8並びに放送法関係審査基準第6条及び第7条第1項の規定に基づき審査を行いました。審査の概要については、別紙1のとおりです。また、具体的な各申請の内容

及び審査の内容については、別紙2のとおりです。

\*別紙1, 2については、

([http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01ryutsu11\\_01000002.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu11_01000002.html)) をご参照  
ください。

表1 認定することが適当と認められた申請

認定することが適当と認められた申請【HDTV6番組（5者）】

番組名等	申請者名	使用する 周波数
洋画★シネフィル・イマジカ (HDTV) 16スロット	株式会社IMAGICAティーヴィ (代表取締役社長 伊藤 明)	BS第21チャンネル
J sports Plus (HDTV) 16スロット	株式会社ジェイ・スポーツ・ブロード キャスティング (代表取締役社長 笹島 一樹)	BS第21チャンネル
J sports ESPN (HDTV) 16スロット		BS第21チャンネル
BS-F (仮称) (HDTV) 16スロット	株式会社釣りビジョン (代表取締役社長 有澤 僚)	BS第23チャンネル
日本映画専門チャンネル (HDTV) 16スロット	日本映画衛星放送株式会社 (代表取締役社長 杉田 成道)	BS第23チャンネル
D-Life (仮称) (HDTV) 16スロット	ブロードキャスト・サテライト・ディ ズニー株式会社 (代表取締役社長 田中 久也)	BS第23チャンネル

認定することが適当と認められた申請【SDTV1番組（1者）】

番組名等	申請者名	使用する 周波数
ディズニー・チャンネル (SDTV) 6スロット	ブロードキャスト・サテライト・ディ ズニー株式会社 (代表取締役社長 田中 久也)	BS第7チャンネル

### 3 今後の予定

総務省においては、電波監理審議会からの答申を踏まえ、表1の申請を認定す  
ることとします。

参考資料として、BS放送のテレビ番組のチャンネル配列図を示す。



# BS放送のテレビ番組のチャンネル配列図

(別添)

1ch		3ch		13ch		15ch					
BS朝日 総合編成 (24)	BS-TBS 総合編成 (24)	WOWOW 総合編成 [有料] (24)	BS Japan 総合編成 (24)	BS日テレ 総合編成 (24)	BSフジ 総合編成 (24)	NHK BS1 [SD] (9.5)	NHK BS2 (11)	NHK BShi (24)			
5ch		7ch		9ch		11ch					
<p>【平成23年7月24日までに終了】 WOWOW(アナログ) [SD][有料] WOWOW 新規第一番組 総合編成 [有料] (24)</p> <p>【平成23年10月1日放送開始(放送)】 スターチャンネル プラス 映画 [有料] (13)</p> <p>【平成23年7月24日までに終了】 NHK BS1(アナログ) [SD] NHK BS2(アナログ) BS-FOX スカチャン 804 総合編成 [有料] (16)</p> <p>【平成23年10月1日放送開始(放送)】 スターチャンネル アニメマックス クワック アニメ 映画等 [有料] (16)</p> <p>【平成23年10月1日放送開始(放送)】 スターチャンネル 化シヨ 映画 総合編成 [有料] (15)</p> <p>Twelve 総合編成 (15)</p> <p>11ch NHK BS2(アナログ) 放送大学 学園 大学教育放送 [有料] (16)</p>		SDTV1番組認定予定		SDTV1番組認定予定		SDTV1番組認定予定					
17ch		19ch		21ch		23ch					
<p>地上デジタル放送の衛星利用による 暫定的な難読解消のための放送 【SD7番組】 (48)</p>		<p>【平成23年10月1日放送開始(放送)】 グリーンチャンネル J sports 1 J sports 2 スポーツ [有料] (16)</p> <p>星井水産情報 中央競馬 [一部有料] (16)</p> <p>ジェイ・スポーツ J sports Plus J sports ESPN スポーツ [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p>		<p>BS-F (仮称) 娯楽・趣味 [有料] (16)</p> <p>BS11デジタル 総合編成 (18)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p>		<p>BS11デジタル 総合編成 (18)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p>		<p>日本映画専 門チャンネル 映画 [有料] (16)</p> <p>BS-F (仮称) 娯楽・趣味 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p> <p>映画 [有料] (16)</p>		<p>D-LiFe (仮称) 総合編成 (16)</p>	

HDTV6番組認定予定

私とARIB

標準化専門委員会 副主査 鬼頭 英二  
(日本電気株式会社 エグゼクティブエキスパート)

現在、IMT-Advanced部会・標準化専門委員会に微力ながら協力させていただいております。この委員会は、第三世代以降の移動通信システムであるIMTの標準化を行っているITU-R SG5 WP5Dへの対応を中心に活動しています。WP5Dのホットな議題は、IMT-Advancedの標準化であり、IMT-Advancedの

無線インタフェース技術としては、3GPP技術とIEEE技術が提案されていて、2010年10月のWP5D会合において、この2つの技術はそれぞれIMT-Advancedの要求条件を満足していることが確認され、詳細無線インタフェース勧告の作成に進むことが認められると想定されています。また、最近では、IMTシステムの現状のサービス、トラヒックなどのレビューを行い、2011年10月を目標に文書作成することが始まりました。この文書は、2020年位までを見据えた場合に我々がどのような研究をすべきなのかを考えるのに役立つものになると思っています。

小生は、IMT-2000がFPLMTSと呼ばれていたころに初めてIMTの標準化に参加させていただき、いまIMT-Advancedの標準化が一区切りを迎えようとしているのを思うと、2世代を見てきたのかと感慨ひとしおです。この間に変わったことといえば、会議で出かけた現地の食事が以前のようにあまり美味しくいただけなくなって、日本で日本人向けに若干改良されている○○料理のほうがうれしく思えるようになったことです。食事嗜好の変化に絡んで思うのは、年をとったなということと、日本独特のものを好む海外の方も多く、日本において日本人向けに改良されたテイストが海外でも結構受け入れられるのではないかと、ということです。日本の製品・サービスが特殊なものなので売れないと見る向きもありますが、素晴らしい独自性として海外に出ていきたいものです。

## 編集後記

---

ARIBでの具体的な活動を会員に広く理解して頂くことを目的として、ARIBでの委員会活動に積極的に取り組んでおられる方を中心にして、エッセイを書いて頂き、「私とARIB」の欄に掲載することになりました。本ニュースが記念すべき第1号となります。乞うご期待！また、寄稿のお願いの際は、ご協力方、宜しくお願い致します。

(敬天愛人)

[ページの先頭に戻る](#) ▲